

姉妹町・津野町から交換留学生

小学生4人が町へ留学

訓子府町の姉妹町・高知県津野町から小学生4人の交換留学生と引率の津野町立精華小学校の大崎教頭先生が2月1日に来町しました。

今年、来町したのは中上榛椰さん(中央小学校)、松尾咲奈さん(葉山小学校)、西森結姫さん、秋田開里さん(以上精華小学校)の6年生です。

児童たちは町の冬の一大イベントであるさむさおまつりやスケート学習など冬のイベントを満喫したほか、訓子府小学校と居武士小学校での勉強や遊びを通じて本町の児童たちと交流を深め、たくさんの友達をつくり、6日に離町しました。

交換留学生歓迎セレモニー



親子で冬のレクリエーション

わくわく園の冬の親子レクリエーションが1月25日にわくわく園グラウンドで行われました。

当日は晴天に恵まれながらも、冬の寒さが身に染みる中、リレーや鬼ごっこ、宝探しなどが行われ、冬の日を親子で楽しみながら、交流を深めました。



わくわく園で豆まき

節分にちなみ、わくわく園で2月3日に豆まきが行われました。

父母も協力し、鬼の衣装を身に付けて、太鼓の音とともに園児たちの前に登場。園児たちは「鬼は外、福は内」の掛け声とともに、新聞紙を丸めて作った豆を鬼にぶつけて退治しました。



オホーツク玉入れ選手権大会

第18回オホーツク玉入れ選手権大会が2月9日に町スポーツセンターで開かれ、訓子府町内をはじめ北見市や紋別市、また今年は、姉妹町の高知県津野町からも参加し、ジュニア1チーム、一般18チームが熱戦を繰り広げました。

身長よりはるかに高いバスケットをめがけ、1チーム4人から6人の選手が100個の玉を投げ入れる速さを競い、会場内は熱気に包まれました。一般の部では「紋別アクア」(紋別市)が3年連続で優勝し、9月に和寒町で開催される「全日本玉入れ選手権」への出場権を獲得しました。

訓子府町のチームでは一般4チームが参加し、練習の成果を発揮しました。

熱き戦いを繰り広げ



訓小と居小で一日入学

新1年生を対象にした一日入学が、2月18日に訓子府小学校と居武士小学校でそれぞれ行われました。

訓小では1年生と、居小では1・2年生と一緒に工作などを通して交流しながら、4月から始まる小学校での新しい生活に、胸を膨らませていました。

入学式は各小学校ともに、4月6日に行われます。



わくわく園 人権教室を開催

人権擁護委員が2月10日に、わくわく園で人権教室を開きました。

優しさや思いやりの心を育て、命の大切さへの意識を高めることとして、人権についてのDVDを鑑賞したあと、人KENまもるくん・人KENあゆみちゃんが会場に登場し、園児たちの質問に答えてくれました。

人権擁護委員の山本さんは「わくわく園や家庭の中で、人に対する思いやりの心を大切に生活してほしい」と話していました。

